【大阪産業大学海外安全対策ガイド】

海外では、日本に居る時と同じ意識で行動することは非常に危険です。トラブルに巻き込まれないよう、また巻き込まれても被害が最小限で済むよう、日ごろから情報を収集し十分な準備を心がけ、常に意識して慎重に行動してください。事前の準備を怠り不安な海外生活を送るより、事前に十分な準備をし安心して海外生活を送れるよう、出発前から十分に情報を収集、分析しましょう。安全のための 3 原則は「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」と言われますが、以下の注意事項をよく読んで、それ以外にも適宜十分に注意して海外での生活を送るよう心がけてください。海外では**「自分の身は自分で守る」**が基本です。

1．出発前から、十分な準備をする。外務省の海外安全（URL:https://www.anzen.mofa.go.jp/）で、危険情報や感染症、宗教、習慣、他の情報を収集、分析、理解して、海外でのトラブルを未然に防ぐ努力をする。除菌ウェットティッシュや整腸剤など、持って行った方が良いものも調べておく。

2．出国前に必ず外務省の「たびレジ※」に登録し、留学先の在外公館の連絡先を必ず事前に確認、連絡先をメモする。３か月以上滞在する場合は現地の在外公館へ「在留届※ネット予約して大使館へ」を提出する。また、海外での滞在先（住所、電話番号）が決まったら、速やかに家族および国際交流課（email:ieo@cnt.osaka-sandai.ac.jp、tel:＋81-72-875-3001、夜-3002）等に必ず連絡する。住所、電話番号が変わった時も、同様に連絡をする。（※URL：https://www.ezairyu.mofa.go.jp/）※パスポートを紛失した場合は日本大使館等に連絡し、再発給手続きをする。

3．海外旅行保険（賠償保険を含むこと）に必ず加入すること。**大阪産業大学の海外プログラムで、学研災付帯海外留学保険に加入する場合は、個別に海外旅行保険に加入する必要はありません。**また、自分がよく使う薬（抗アレルギー薬、頭痛薬、胃腸薬、かゆみ止めなど）や、病気等ある場合は英文報告書・診断書等も準備し、国によって禁止されている薬物は持ち込まない。
※英文診断書等は時間に余裕を持って申請する。
渡航先によっては、厚労省免疫所 HP（https://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html）等で、必要な予防接種等調べて受ける。

4．海外では、自分のことは自分で守るという強い意識を常に持つ。大金は持たない。現金は小分けする。パスポート・保険証などはコピーして保管する。宿泊先の玄関、ベランダ等は必ず施錠し、非常口を確認しておく。病気や強盗被害など緊急の際の連絡先（警察、救急車、保険会社、大学、公館等）を予め確認しておく。（現地到着後に行われるオリエンテーションなどで説明があることもありますが、なければ派遣先で確認してください。）

5．海外では、文化、風習等の違いから自分では気付かないうちに体調不良になることがあるので、常に自分の身体および精神状態に注意し、体調が悪いと感じたら、早めに相談する。※病院、カウンセラー、家族、友人、派遣先大学、大阪産業大学、海外健康電話相談サービス（裏面 13.）等に相談する。

6．滞在先によって、水、食品の衛生状態がよくない地域もあり、なま水、水道水だけでなく、地域によっては、生野菜、カットフルーツ、ジュース、氷なども避ける。水は、ミネラルウォーターを購入するか、水道水であれば十分に煮沸してから飲む。

7．日本の法律だけでなく滞在先の法律にも違反しない。飲酒可能な年齢も国や地域で異なり、覚せい剤などの薬物や銃器に対する罰則も、日本とは比較にならないほど重い刑が科せられる国もある。

8．日本と習慣や常識、文化が異なるだけでなく、日本で当たり前のことが、滞在先の法律に違反したり、非常に失礼にあたりトラブルになることもあるので十分注意する。政治、文化、宗教等の批判をしたり、大声を出したりしない。

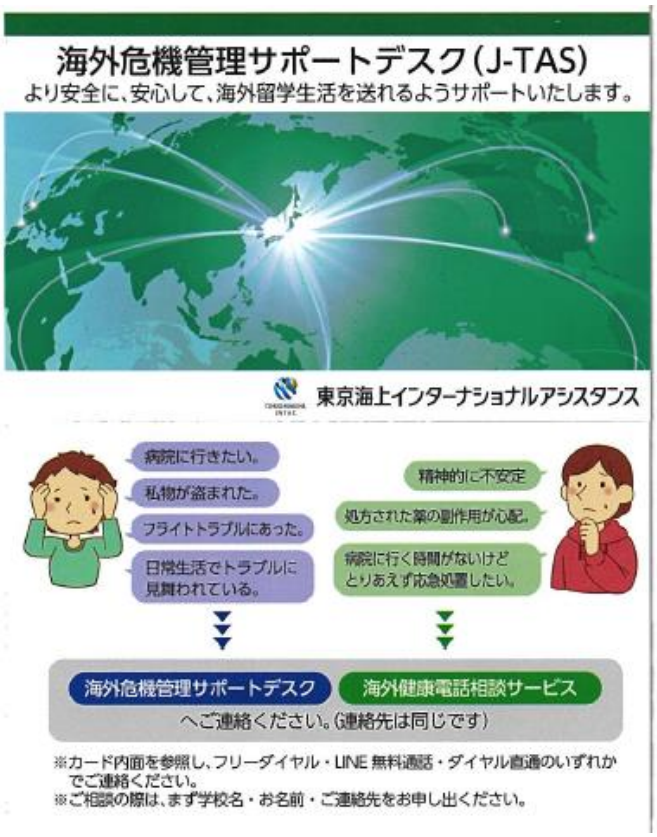
9．常に周りに気を配り、警戒を怠らない。裏路地、夜間の道は歩かない。むやみに人混みに近づかない。高価なものを身に付けたり、華美な服装をして目立つことなどを避ける。よく知らない人を信用したり、他人に自分の情報を知られたりしないよう注意する。

10. 万一強盗などの被害に合ってしまった時は、むやみに逆らわず状況に応じて金品を渡すなどして危機を回避し、安全が確認できたら速やかに警察・在外公館・大学国際交流課(連絡先は 2.と同じ)・保険会社・家族等に連絡する。事件等が実際に起こっていなくても、自分の身の危険を感じた場合は、同様に速やかに連絡をする。

11. 他人から荷物を預からない。薬物や盗品の場合、自身が罰せられる可能性がある。顔見知り程度の人からもらった食物などむやみに食べない。ドラッグが混入していた事例もある。

12. 休暇中は気が緩みやすいので特に注意し、休暇中のスケジュールは必ず家族に連絡する。また、車の運転やバンジージャンプなど危険な行為はしない。

13. 海外での日本語サポートデスク（大学プログラムの場合）を利用する。
大阪産業大学が主催する研修・留学は、海外留学生安全対策協議会と保険契約を結び、皆さんが海外での日常生活や健康面で困った時に、24 時間日本語でサポートしてくれるサービスが付いている（2022 年 7 月現在）。
問題が発生した時には、以下の電話番号一覧あるいは QR コードに従って電話で相談する。



【海外危機管理サポートデスクフリーダイヤル：海外健康電話相談サービス連絡先】　【QR コード拡大】

こんな時は遠慮なく電話してください
- 病気やケガの時病院の案内をして欲しい
- 携行品の盗難・破損、商品を破損した
- 保険金の請求方法
- 突然の発熱でどうしていいか分からない
- 酷い腰痛で楽になる方法を教えて手欲しい
- 病院で処方された薬の副作用が知りたい

アメリカ	１－８００－３３９－５８７２
カナダ	１－８００－５１１－４０９２
イギリス	０８００－０２－８３４８９
フランス	０８００－９１－００７２
ドイツ	０８００－１－８０－２３３２
韓国	００７９８－８１－１－０６００
中国	４００１－２０１１０８
ニュージーランド	０８００－４４－６５５７

【安全管理参考 URL】

外務省海外安全ホームページ URL
https://www.anzen.mofa.go.jp/

厚生労働省免疫所
https://www.forth.go.jp/

外務省地域別医療事情
https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html

海外留学生安全対策協議会 J-TAS ホームページ URL
https://www.jcsos.org/traveler/j-tas/what

以上

20230303 国際交流課